

平成29年度 運営基本方針

千葉県小学生バレーボール連盟:2017/4/2/総会

昨年はリオデジャネイロオリンピックが開催され、体操をはじめ多くの金メダル、銀メダル、銅メダルを日本選手団が取ってくれ、私たちの心に残る暑い夏を過ごしました。バレーボールを含め多くの競技団体でも強化に取り組んで、3年後の東京大会ではさらなる感動が期待されます。

平成28年度は、役員以下各チーム指導者のご支援を頂き、全国大会の開催、JVAジュニアゴールドプラン、日清製粉バレーボール教室の開催及び日本体育協会から千葉県体育協会に委託されて開催した第20回日韓青少年夏季交流スポーツ事業が8月に行われ、男女それぞれのチームが韓国への遠征と韓国から選手を受け入れての大会行われ、初めての選抜チームを結成して大会が行われました。これら様々な行事も高橋会長のもと無事終えることができました。また、女子においては今年度も2月に埼玉県選抜チームとの交流会を行い、選ばれた14名の選手による千葉県選抜チームが結成され、栄えある代表として新たなページを開いてくれました。

さて、今年度も全日本バレーボール小学生大会の浦安会場は8年目を迎え、浦安市運動公園総合体育館で開催されますが、過去の大会と同様に立派に大会運営を進めていきたいと考えています。また、今年も5年目を迎える幼稚園・保育園ソフトバレーボール実施支援事業も開催し、バレーボールの拡大を図っていきたく考えます。さらには、2月には実施が最終年度となる指導者三次講習会を開催して、日本体育協会の指導者資格取得に向けた取り組みを行います。

従来の基本方針を踏襲すべき項目を示しましたので、登録団体の一層のご協力をお願いします。

1 県内各市町村に1つ以上のバレーボールチームを

- ・市スポーツ少年団との連携
- ・市町村協会との連携

2 小学生バレーボールからの体罰完全排除

- ・指導者の相互監視
- ・活動時の保護者参観の奨励

3 全国大会浦安会場開催への協力

- ・全チームが協力して大会を成功させる

4 JVA—MRS への選手・指導者の完全登録の推進

- ・チームスタッフの完全登録
- ・選手の適正登録

5 役員・指導者の資質向上と各事業の推進

- ・各事業の充実
- ・役割分担の明確化
- ・登録団体の協力
- ・県小連運営に1名以上の協力者を

6 財政基盤の確立

・受益者負担の導入 ・PC化による経費の削減